

AV MATERIAL

ニュースクリップ & 映像教材

AV情報

■農林水産省 小・中学生向け「農業」学習コンテンツ公開

農林水産省は、次世代を担う子供たちへ、農業や農村の大切な役割を広く伝えるため、「農業学習」に活用できる教材を制作、公開した。

<内容>○小学生向け「草刈りは地球を救う」(学習マンガ)、「農業遺産で学ぶ『米づくり学習』カリキュラム案・授業案」(指導者用冊子)

○中学生向け「農業遺産から見る地域の特色を生かした持続的農業・林業・水産業」(地理補助教材)、「ミーとトラ 瑞穂の国の大冒険」(歴史学習マンガ)の4教材。詳細は、<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kantai/240311.html>を参照のこと。

<問い合わせ先>農林水産省農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課農村環境対策室農業遺産班 TEL 03-6744-0250

■「第14回教育総合展EDIX東京」開催

EDIX実行委員会主催による学校教育や人材育成など、教育のトレンドが集まる標記の総合展示会が開催される。

<日時>令和6年5月8日(水)～10日(金)10:00～18:00、最終日のみ17:00終了。

<会場>東京ビッグサイト西展示棟(東京都江東区有明3-11-1)

<内容>教材・コンテンツ、STEAM教育、ICT機器、教育DX、人材育成・研修、施設・サービス、支援の7つのエリアでの展示、セミナー等。要事前申込。

<問い合わせ先>RXJapan(株)

TEL 03-6739-4126

■NHK放送文化研究所「文研フォーラム2024」

NHK放送文化研究所では、「メディアの信頼(仮)」をテーマに標記フォーラムをライブ配信により開催する。

<日時>令和6年5月23日(木)10:30～16:45、24日(金)15:00～16:20

<内容>能登半島地震などの災害時や、偽・誤情報対策などにおけるメディアの役割に関する研究発表とシンポジウム。要事前申込。申込締切は、令和6年5月17日(金)。申込者に視聴用URLを送付。プログラム詳細や申込は、<https://www.nhk.or.jp/bunken/forum/2024/index.html>を参照のこと。

<問い合わせ先>NHK放送文化研究所ホームページまで。

コンクール情報

■「第65回科学技術映像祭」入選作品決定

優れた科学技術映像を選奨することを目的に、(公財)日本科学技術振興財団、(公社)映像文化製作者連盟、(公財)つくば科学万博記念財団、(一財)新技術振興渡辺記念会主催による標記映像祭において入選作品が決定した。内閣総理大臣賞自然・暮らし部門「NHKスペシャル 映像記録 関東大震災 帝都壊滅の三日間 前編」、文部科学大臣賞自然・暮らし部門「ガリレオX 地衣類の世界身近な謎多き生命体」、同賞研究・技術開発部門「居間からサイエンス ～地球誕生の謎に迫る！地下2600キロの大発見」、同賞教育・教養部門「ダー

ウィンが来た！生きものの不思議を解き明かせ！子ども研究者スペシャル」他。なお、入選作品上映会は、令和6年4月19日（金）、科学技術館（東京都千代田区北の丸公園2-1）において、以降、順次全国各都市の科学館等で開催される。

<問い合わせ先> 科学技術映像祭事務局（公財）日本科学技術振興財団内 TEL 03-3212-8487

■中央教育研究所「教科書研究奨励金」公募

（公財）中央教育研究所では、若手の研究者による教科書に関する研究の発展と日本の教育の改善を目的とし、教科書に関連する研究に奨励金を交付しており、その交付先を公募している。

<助成対象> 日本および諸外国の学校またはその他の教育機関で使用されている教科書についてのさまざまな研究。教科は問わない。教科横断的な研究、諸外国の教科書研究など。

<応募資格> 大学院生、大学教員、研究者等。

<交付金額> 1件につき20万円。

<締切> 令和6年4月25日（木）

<問い合わせ先>（公財）中央教育研究所
TEL 03-5390-7488

■第40回「学習デジタル教材コンクール」作品募集

（公財）学習情報研究センターでは、標記コンクールの作品を募集している。

<応募資格> ○団体（学校、教育委員会、教育センター、その他教育機関、研究グループ等、教員の指導のもとにある児童生徒）○個人（学校の教員、教育委員会、教育センターの教育関係専門職、その他教育経験者等（大学生含））

<対象作品> ○教員等（大学生含）が作成したものの。児童生徒の学習のために作成したデジタル教材・アプリ（ソフトウェアや教材等を創意工夫によりパッケージ化されたものを含む）、既存のデジタル教材・アプリ等を活用した授業実践事例。○児童生徒が作成したものの。教員の指導のもとに児童生徒が学習活動の一環として作成したデジタルの成果物。

<賞> 文部科学大臣賞（団体賞、個人賞、各賞金5万円）、学情研賞他。

<応募期限> 令和6年5月7日（火）

<問い合わせ先>（公財）学習情報研究センター
コンクール係 TEL 03-6205-4531

■（公財）ちゅうでん教育振興財団「第23回ちゅうでん教育大賞（論文）」「第24回ちゅうでん教育振興助成」募集

（公財）ちゅうでん教育振興財団は、全国の小・中学校における教育活動を支援するとして、標記2つの項目にて募集を開始した。なお、応募資格は、2項目ともに、全国の小・中学校および特別支援学校（小・中学部）の教職員個人または教職員グループ（専修学校・各種学校は対象外）。

○「第23回ちゅうでん教育大賞（論文）」

<研究題目> 自由。令和5年度を含む期間の小・中学校、特別支援学校（小・中学部）において実施された授業実践の研究および成果。総合的な学習の時間、特別活動を含む全教科領域を対象。SDGsを題材とした学習やICT活用などをはじめ、多様な教育実践論文。

<賞> 大賞（1件）50万円、優秀賞（2件）20万円、奨励賞（10件程度）各5万円。

<締切> 令和6年5月31日（金）

○「第24回ちゅうでん教育振興助成」

<内容> 令和6年度中に小・中学校で実施される優れた教育上の試みや、教職員を対象とした教育に関わる研究大会・セミナーなどへの助成を行う。

<助成> 学校内で行われる多様な教育実践を対象にした「学校支援コース」（助成金額：10～30万円）、複数校の教職員による研究・研修を対象にした「団体研究コース」（助成金額：10～50万円）。助成件数は、130件程度を予定。

<締切> 令和6年6月13日（木）必着。

<問い合わせ先>（公財）ちゅうでん教育振興財団
TEL 052-932-1741（平日9：00～17：00）

■NHK「日本賞」作品募集

NHKでは、世界中の教育コンテンツの質の向上に貢献すること、社会と文化の相互理解を促進することを使命として、標記コンクールを実施する。

<資格> 応募作品を制作・放送する、または著作権を有する放送事業者、映像制作プロダクション、コンテンツ制作プロダクション、教育研究機関、非営利活動団体等。個人による応募は受付けない。

<部門> 1 幼児、2 児童、3 青少年、4 一般。

<応募対象> テレビ番組、映画、ビデオ作品（尺60分以内）、デジタルメディア作品（ウェブゲー

ム、ゲーム、アプリケーションソフトウェア、クロスメディアコンテンツ等)の場合、作品内容を説明した解説動画(尺10分以内)を必ず提出すること。なお、1機関が応募できる作品数は最大で、計4作品。

<賞>グランプリ日本賞、各部門最優秀賞他。

<締切>令和6年6月6日(木)23:59(日本時間)必着。

<問い合わせ先>日本賞事務局

MAIL s02703-japan-prize@nhk.or.jp

各地の情報

■「デジタル大阪ミュージアムズ」公開

大阪市立美術館、大阪市立自然史博物館、大阪市立東洋陶磁美術館、大阪市立科学館、大阪歴史博物館、大阪中之島美術館の6館の各館の収蔵品をまとめて公開する標記ウェブサイトが公開された。本サイトは、美術・歴史・自然科学といった分野の異なる館の収蔵品統合データベース機能を持ち、キーワード等による横断検索が可能となっている。詳細は、<https://dom.oem.osaka/>を参照のこと。

<問い合わせ先>(地独)大阪市博物館機構事務局 経営企画課ミュージアム活性化実行委員会
TEL 06-6940-0569

文部科学省選定作品

■2月選定 紙 紙しばい D DVD プ ブルーレイ

「わらのうし」紙12枚<幼稚園/小学校低学年/幼児・少年、教養>(株)童心社

「ゴリくん、なにつくる?」紙12枚<幼稚園/幼児・少年、教養>(株)童心社

「よりくんの くつした」紙8枚<幼稚園/幼児、教養>(株)童心社

「郷 僕らの道しるべ」D96分<青年・成人、人生設計(人生設計・生き方)>Letheany&Co.合同会社
「かづゑ的」D119分<少年・青年・成人>オフィス熊谷

「取り残された人々 日本におけるシングルマザーの苦境」D78分<青年・成人>ジャパン・メディア・サービス

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/

短信

■文部科学省初等中等教育局修学支援・教材課は、令和6年4月1日から組織再編により、学校情報基盤・教材課となった。

■文部科学省初等中等教育局学校情報基盤・教材課の異動 令和6年4月1日付

○修学支援・教材課長 武藤久慶氏→初等中等教育局教育課程課長○専門官 高橋苗々子氏→初等中等教育局健康教育・食育課課長補佐○GIGA基盤企画係長 小楠健太氏→初等中等教育局教育課程課教育課程総括係長○修学支援・教材課庶務・助成係長 小宮山雄輝氏→初等中等教育局財務課給与総括係長○学校デジタル化プロジェクトチーム専門官 伊藤兼士氏→岩手県教育委員会事務局学校教育室学校教育企画監○学校デジタル化プロジェクトチーム専門職 小形峰樹氏→白鷹町教育委員会○学校デジタル化プロジェクトチーム係員(学びの先端技術活用推進室) 藤田琴乃氏→総合教育政策局日本語教育課連携係○学校デジタル化プロジェクトチーム補佐(振興室) 前畑啓太郎氏→初等中等教育局教科書課課長補佐○総合教育政策局調査企画課学力調査室長 寺島史朗氏→学校情報基盤・教材課長○世田谷区教育委員会事務局学校教育部長 小泉武士氏→課長補佐○玖珠町教育委員会教育政策課主任 平川拓也氏→GIGA基盤企画係長○初等中等教育局財務課給与総括係長 内田裕一郎氏→学校情報基盤・教材課庶務・助成係長○経済産業省産業技術環境局技術振興・大学連携推進課大学連携推進室室長補佐 金岡由岐子氏→学校デジタル化プロジェクトチーム専門官○大臣官房政策課調整係 石田望氏→学校デジタル化プロジェクトチーム係員○大臣官房政策課企画係 伊勢本惇示氏→学校デジタル化プロジェクトチーム係員○初等中等教育局教育課程課学校教育官 川口貴大氏→学校デジタル化プロジェクトチーム補佐(振興室)

※本欄掲載のイベント開催等の最新情報は、主催者<問い合わせ先>に、ご確認ください。